

落合市民センターで開催された子ども会インリーダー研修会の世話人対象の研修内容を採録しました。

(パワーポイントで説明された内容・画像等の削除あり)

新年度の子ども会活動を始めるにあたって、もう一度復習してみましょう。

=====
令和4年度

子ども会世話人の役割
～仙台市子ども会インリーダー研修会～

令和5年1月28日(土)
落合市民センター

仙台市嘱託社会教育主事
仙台市立東六番丁小学校 教頭 千葉慎一

=====
はじめに

子どもたちを取り巻く現状は？

少子高齢化 安全への不安
地域のつながりの希薄化
新型コロナウイルス感染症対策→対面での活動激減

子どもたちの現状は？

多忙化
放課後→授業の準備・委員会活動
習い事, 塾, スポーツ少年団など

比較的狭い範囲のかかわり合い

ゲームで遊ぶ→ゲームと遊ぶ
実体験の不足
サンマの危機・・・「仲間・空間・時間」

がない

=====
「子ども会」は必要か？

必要と思う理由は？

なくてもよいと思う理由は？

=====

=====
「子ども会」とは

親や地域の人に支えられ、地域に根ざした組織

異年齢からなる「遊び」をもとにした集団

子どもたちが自主的に運営

「子どもによる、子どものための
～」

=====
子ども会のプログラム

地域や子ども会の事情で、はじめから決定しているもの

(総会, 歓送迎会, ラジオ体操, 学区民運動会, 資源回収など)

子どもたちの発想で、自由に企画・運営できるもの

(お楽しみ会, レクリエーション・ゲーム大会

花火大会, キャンプ, 野外での活動など)

=====
行事プログラム

(地域や子ども会の事情ではじめから決定しているもの)

プログラムのアウトラインは、決まっているか、
育成者が作成するか？

子どもたちにできる活動は何か？

- ・自分たちで役割分担(責任感を持たせる)
- ・楽しく活動するため、子どもなりのちょっとした工夫を考えさせる

=====
子どもの実態に合わせた柔軟な対応を

リーダーが経験豊富な場合

→企画・運営の話合い活動は、5. 6年の

リーダーが司会をし、低学年の意見を吸い上げながら話し合う

リーダーが経験不足の場合

→内容の案をいくつか育成者が5、6年生に提案し、子どもたちが話し合いで選択するようにする

世話人の役割

- ・スケジュールを、各行事と調整して決定する
- ・会場等の予約、施設、材料等を手配する
- ・予算の確認と執行を行う
- ・安全面のチェックを行う
- ・保護者向けの連絡を行う

=====

支援に当たって

できるだけ実現する方向で

(考えたことは、準備して努力すればできる、ということを実感させたい)

実現に向けた、具体的なアドバイス

(予算・準備物・役割分担・日程・交通手段・予約・安全への配慮など)

行事のねらい・目的を考え、発想を生かしながら修正するアドバイスを

→ジュニアリーダー（JL）の活用を

× まる投げ

=====

どう支援しますか？

子どもたちに行事プログラムの計画を立てさせたところ、「ベニーランド（遊園地）へ行きたい」という案が出てきました。

皆さんは子供会の世話人として、この話し合い活動をどう支援していきますか？

=====